

住民研修:「住民・第3分科会」の概要票

テーマ	空き家や空き地、いかにして保全・活用を進めるか
趣旨と進め方	少子高齢化の進行の中で空き家、空き地は増加し、地区の深刻な問題となっている。空き家、空き地を活用して、いかにコミュニティの維持や地区の景観の向上につなげるか。また、空き家等を斡旋するなどの仕組みをどう作っていくか、行政としての支援体制をどう充実させていくかなどの課題にむけて、先進事例の報告を受け意見交換を行う。

日時	会場	講師等の氏名	講師等の所属	プロフィール
5月17日(木) 14:10~16:20	市民会館 1F 交流室B	コーディネータ さいとう ゆきお 齋藤 行雄	NPO法人 全国町並み保存連盟 副理事長	1960年(S35)臼杵市生まれ。大分県会計管理局勤務。臼杵の歴史景観を守る会会長。NPO法人臼杵伝統建築研究会理事。自宅は国登録有形文化財。自分で古民家を買取るとともに、市内外の古民家再生、活用の手伝いをしています。
		報告者等の氏名(ふりがな)	報告者等の所属・役職	プロフィール
		パネラー うへだ たくや 上田 琢也	NPO法人 今井まちなみ再生ネットワーク理事長 (樺原市今井町)	1965年(S40)奈良県社会福祉事業団職員。NPOの「今井空き家バンク」の活動を通じて、今井町への移住者を応援し、空き家の多様な利活用を進めています。好きな都市は、ドイツのローデンプルグ。
		パネラー なかむら やすのり 中村 泰典	NPO法人 倉敷町家トラスト代表理事 (倉敷市倉敷川畔)	1951年(S26)倉敷市生まれ。グリーンハウス(音楽ソフト販売)有限会社代表取締役。96年(株)エフエムくらしき設立常務取締役。06年倉敷伝建地区をまもり育てる会 事務局長。生まれ育ったまちで活動することが第一だと6年前にやっと気づき今の活動に至る。
		パネラー きたじま つとむ 北島 力	NPO法人 八女町家再生応援団代表 (八女市八女福島)	1952年(S27)福岡県生まれ。地元高校卒業後、八女市役所に勤務し都市計画課長を最後に退職。NPO法人全国町並み保存連盟理事、八女福島の町家建築を一つでも多く後世に継承するため空き家の保存活用に全力投球中。

コメント・意見	齋藤 行雄	臼杵市での町並み運動が本格化して約30数年。第6回全国町並みゼミの開催、市民有志による手本となる町屋の再生など市民主導での活動から、市条例による保全地区の指定、助成措置更には商店街のアーケード撤去等へと繋がってきました。しかしながら、近年特に空き家、空き地の増加が目につくようになりました。一方、行政による古民家等の公有化やメンバー自らが買い取ったの保全も相当数行ってきましたが、やはり限界があります。空き家バンクも設けてはいますが、なかなか市民権を得るに至っていない状態です。特に、これまで町並み地区として評価されていないものの、相当数の町屋、武家住宅の残る地区においては斜面地、道は狭隘、家は狭小と悪条件が重なり人知れず朽ちていく状態です。新たな展開を早急に開始すべきと考えています。
	上田 琢也	今井町も近年、空き家が顕在化し、約800軒の町家のうち、100軒程度が空き家・空き地となりつつあります。NPOを設立して、6年、所有者と今井町へ住みたいと希望される方々との橋渡しに取り組み、約30件の成果が出てきました。基本は、「町家の再生は、地域コミュニティの再生」。ただ、移住者を求めるだけでなく、時間をかけ、緊密な対話を通じて、新しい今井町民を創造、見いだしていくことが重要だと感じています。伝建制度の改修の制約や規制を本来の今井町の町家、町並みが持つ価値として再発見できるよう取り組んでいきたいと思っています。また奈良県内の空き家バンク活動、ネットワークもすすめています。

中村泰典	<p>倉敷川畔伝統的建造物群保存地区の保全活動は60年を越える歴史がある。町並みはほとんど変わっていないが、少子高齢化とドーナツ化現象により、暮らしぶりと、人の構成はずいぶん変わっている。地理的にも恵まれ、さまざまな集客装置もあり、多くの観光客を集めている。昨年JR倉敷駅北に大型商業施設が開店、伝建地区も商業店舗が増え、さらに観光客を集客する装置が増えている。そのような環境の変化の中で、伝建地区内に居住を求める外部の人間も多いが、空き町家は住居より商業店舗に転用されることが多くなっている。トラストも商店、住居、外壁などの改修など十数件の町家の再生に関わった。今後は定住と、地域住民の交流の場作りと、公益性の高い町家、空間の利用法を提案する役割が期待されていると考えている。</p>
北島力	<p>市街地に位置する八女福島町の町並みは、空洞化や少子高齢化の進行が相まって、空き家が増加してコミュニティの維持が困難になっています。私たち八女町家再生応援団は、町家の新しい継ぎ手を育てるべく、空き家の所有者と町家を借りたい希望者の間の仲介活動に全力を注いでいます。メンバーも空き家に住み新しい継ぎ手として挑戦しつつ、ここ10年間で空き家約30軒にカフェやギャラリー、住宅などとして新しい息吹が吹き込まれています。課題は、空き家の所有者が資金不足や近くに住んでないなどで修理できない物件に対して、新たなアプローチをしかけることです。先進的取組んで団体と交流を深めたいと思っています。</p>

当日スケジュール	14:00～	開場・受付
	～14:10	参加者へ質問用紙配布
	14:10～14:12	開会あいさつ :司会(八女実行委員会)
	14:12～14:22	コーディネーターのガイダンス(パネラーの紹介含む)
	14:22～15:22	「事例報告」(1名20分程度)
	15:22～15:35	休憩(参加者から質問用紙の回収)
	15:35～16:00	コーディネーター・事例報告者による質問への応答及び参加者討論
	16:00～16:10	各パネラーの総括的発言
16:10～16:20	コーディネーターのまとめ	
16:20	閉会あいさつ	